

1. 幼稚園の運営

- (1) 所在地：水戸市緑町三丁目九番 36 号
- (2) 定員：140名 利用定員(水戸市に報告定員)：120名
- (3) 職員数：24名
 常勤(13名)：理事長1名、園長1名、主任教諭1名、教諭8名、管理栄養士1名
 運転手1名
 非常勤(11名)：教諭5名、調理員4名、園バス運転手2名

2. 教育理念 神様に愛されている幼子、そして育てている保護者が喜びに満たされる生活を
送れるように、今を大切に生きること。

年間テーマ 『イエスさまとともに生きる』

愛する者たち、神がこのように私たちを愛されたのですから、私たちも互いに愛し合うべきです。ヨハネの手紙Ⅰ 4章11節

教育課程

- 一学期**： 出会いが保障され、出会いが意識化されることによって、喜んで自分の存在を受け
容れてくれる存在がいることを、知っていく。
- 二学期**： 自然の中に感動を得、物事への興味を育み、他者を含め共に生きる存在が
いることを前向きに喜んでいく。
- 三学期**： 自分を前向きに捉え、自分と違う存在が居ていいという肯定感を持ちつつ、
仲間と共に何かを創りあげていく喜びを知る。

3. 保育時間

- 通常保育： 8時30分～14時
 一時預かり保育： 8時から8時30分。保育終了後～17時30分(長期休業 8時～17時30分)

4. 職員と園児数

- (1) 2018年4月採用1名(保育者) / 2019年3月末の退職者1名(保育者)
- (2) 園児数月ごと変化 93名-95-97-97-97-102-105-106-107-108-109-109

5. 主な行事 / 金曜日 礼拝 / 月ごとに 誕生会 / 各避難訓練

一学期	二学期	三学期
新入児二者面談	遠足	保育参加 学校見学
親子遠足	運動会	積木ワークショップ
植物栽培/クッキング	さつまいも堀遠足	もてなしクッキング
木工	クッキング	観劇会(劇団風の子)
保育参観	消防署訪問	ひなまつり会
プール	こどもまつり	親子給食会食会
お泊まりキャンプ	クリスマス会	歩く会
個人面談	親子陶芸(子育て支援事業)	卒園・終了式

6. その他の活動

水戸市合同説明会 6月26日(火) 見川総合体育館

入園説明会 9月29日(土)

にじいろチャイルドの会 園児観察8回・コンサルテーション6回・保育者講座2回

保護者対象5回 (茨城大学大学院 金丸隆太先生)

おはなしはらっぱ 年長児対象 実施回数6回 (茨城キリスト教大学 原口なおみ先生)

未就園児親子くらぶ (つくしっこくらぶ) 実施回数14回

子育て相談 8月 3月以外毎月 実施回数23回

園庭開放 (木もれびの庭) 10回

ホームページごとに更新/ブログ～ サーバーを変えて園長や主任が更新できる形態に変更した。

教育実習生受け入れ 0人

7. 2018年度の主な環境に関わる支出経費

AEDの耐用年数経過更新 園庭剪定費用 砂場用砂 ホールエアコン1台

園バススタッドレスタイヤ6本 保育室2部屋の床張り替え (音楽療法用楽器 ベンチ
絵本 劇団招聘 デジタル身長計 砂場用ワゴン) など ()内はバザー収益や卒園記念

8. 今年度の保育評価

満3歳児から5歳児までの混合クラスが4クラス。2018年度は園児数が前年度末より15名減のスタート。一クラス24人前後の生活クラスとなる。例年になく満3歳児の月ごとの入園(計12名)がぱらぱらとあり、グループ担任はクラスを整えていくのに苦労が多かった。運営的には単価の高い満3歳児入園に助けられてもいる。個別支援を必要とするお子さんの担当制を生かし、2学期まで医療行為のあるお子さんの母子通園を可能とした。個別支援計画を整え、卒園する方は小学校に申し送りをすることができた。各々のその子らしさを掴み生かすように努めて、行事などもすすめていった。園庭での遊びが中心になりやすいこと。室内での遊びの見取りが弱くて、深まりがなかなか起きないことが課題であったが、2階の担当保育者の継続性に、遊びのつながりを体験する様子は出ていた。2018年度より小学校との接続を念頭にアプローチカリキュラムを作成した。研修は業務に支障をきたさない限り積極的に送り出した。はじめて学会にも送り出す。(幼児教育実践学会) 刺激は大きい場と感じる。個々の意識を主体的な対話へと変革したいがまだ弱い。

役員含めクレームは起こらず、保育者やPTA会員同士を盛り立てる雰囲気も強かったと感じる。お子さんと保護者とをまるごと受け入れていこうという「今この時」の営みは健全であったといえる。

保育者の事務負担は軽減され、就業終了時間を意識する声掛けを、園長は働きかけた。災害共済を利用する怪我は1件あり、どこを見守るかの連携目視は重要と再確認した。預かり保育は長期の利用者(就業者)が多めなので休業期間の定員を増やした(22名)。

食物アレルギーでの対応は、引き続き個別対応を徹底した。偏食対応まで行えたことはプラス。

報酬面では、賃金改善手当2を引き続き取り入れる。園児募集は当園の保育の雰囲気や環境、理念に共感してくださる方に絞っての募集ともいえる。

つくしっこくらぶや園庭開放、HPの読み取り、口コミ、医師の評価などに助けられている。